

## MSDS（製品安全データシート）のGHS化に伴う新たな記載事項について

（今般の変更は、製品中の成分変更や新たな危険性の増加によるものではありません）

当社では国連勧告及び農薬工業会の方針に基づき、自主的にMSDSの国際調和（GHS化）をはかっています。GHSは『化学品の分類および表示に関する世界調和システム（Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals）』の略で、世界的に統一したルールに従って化学製品を危険・有害性情報の内容により分類し、その情報が一目で分かるようにラベルで表示したり、MSDSを提供したりするシステムのことです。

MSDSは、製造から使用、廃棄までの間で製品を取り扱う全ての方々を対象としているため、GHSにおける危険・有害性の分類結果は、実際の個別の使用・取り扱い場面での危険・有害性の程度（リスク）を示すものではありませんのでご注意ください。

登録農薬など当社製品は、製品ラベルに記載された用量・用法や注意事項をきちんと守ることで人や環境に対して安全にお使い頂けます。

MSDSには万が一の事故など、例えば大量の誤飲・誤食、輸送事故による河川への大量の製品の漏洩、安全基準を外れた作業現場での数十年に渡る長期大量曝露、等々の場合にも参考となる情報が記載されています。今般のGHS化により、MSDSには以下の様な絵表示や危険・有害性情報などが新たに記載されることとなります。詳細は厚生労働省のGHS関連情報のサイト\*1をご参照下さい。\*1: <http://www.nihs.go.jp/mhlw/chemical/doku/dokuindex.html>

### 絵表示(例)

	火薬類 自己反応性 化学品 有機過酸化 物		引火性液体 可燃性固体 自己反応性化学 品 自然発火性液体 自然発火性固体 など		支燃性/酸化性 ガス 酸化性液体 酸化性固体
	高压ガス		金属腐食性物質 皮膚腐食性 眼に対する重篤 な損傷性		急性毒性
	急性毒性 皮膚刺激性 眼刺激性 皮膚感作性 気道刺激性 麻酔作用		生殖細胞変異原 性 発がん性 生殖毒性 特定標的臓器毒 性（急性） 特定標的臓器毒 性（慢性）など		水生環境有害性 （急性） 水生環境有害性 （慢性）

### 危険・有害性情報(例)

「引火性の高い液体および蒸気」、 「飲み込むと生命に危険」、 「発がんのおそれ」、  
「生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い」、 「水生生物に非常に強い毒性」 など

なお、当社製品のMSDSやGHS分類につき、ご質問等がございましたら、[お問い合わせ](mailto:kankyuanzen@nichino.co.jp)  
メールフォームまたは環境安全部（GHS担当） [kankyuanzen@nichino.co.jp](mailto:kankyuanzen@nichino.co.jp) 宛のメール  
でお問い合わせ願います。 以上